

プログラム

会場： 仏教伝道協会ビル
8階「和の間」：特別講演、一般/事例研究発表、メーカープレゼンテーション

令和5年8月24日（木）

9時50分 開会の挨拶 (一社)日本繊維状物質研究協会 理事長 神山 宣彦

10時00分～11時00分

【特別講演1】

司会： 和田 崇((有)TEM'S)

『 電動工具（集じん機付き）を使用した排気装置の実験報告（仮題） 』

(独)労働者健康安全機構労働安全衛生総合研究所 所長 鷹屋 光俊

11時00分～12時00分

【特別講演2】

司会： 富田 雅行((一社)日本繊維状物質研究協会)

『 石綿処理技術の審査証明について（仮題） 』

(一社)日本建築センター 既存建築物技術審査部 技術審査課
課長 新井 淳
主査 大塚 耕二

12時00分～13時00分 昼食休憩

13時00分～14時30分【メーカープレゼンテーション】

司会： 佐川 智幸(アゼアス(株))

① 『 アスベスト現場関連機器の紹介 』

柴田科学(株)

② 『 タイトル未定 』

日本カノマックス(株)

③ 『 G-PAPRの国家検定化について 』

(株)重松製作所

④ 『 アスベスト現場測定可搬型蛍光顕微鏡 』

(有)シリコンバイオ

⑤ 『 各種 アスベスト超高压水洗工法 』

(有)TEM'S

⑥ 『 試料採取袋（チャント袋）の有効性について 』

日本環境分析センター(株)

14時30分～16時50分

【 シンポジウム1 】

『 アスベストの事前調査の現状について 』

司会： 尾川 俊也（九電産業（株））

シンポジスト1：『 行政側が何を現場に求めているか（仮題） 』

厚生労働省 担当官

シンポジスト2：『 事前調査者の受講状況と今後の対応（仮題） 』

建設業労働災害防止協会 ご担当者

シンポジスト3：『 経験不足者が事前調査時に当惑した例（仮題） 』

（有）TEM'S 吉田 優子

シンポジスト4：『 ベテラン調査者が調査する上で注意している事と調査方法 』

（株）ニチアスセムクリート 望月 文人

総括・質疑（ディスカッション）

17時30分～ 交流集会

1日目 終了

プログラム

会場 : 仏教伝道協会ビル
8階「和の間」: 特別講演、一般/事例研究発表、メーカープレゼンテーション

令和4年8月25日(金)

10時00分～11時00分

【一般研究発表】 座長: 東 正樹 ((株) 鹿児島環境測定センター)

① 『 P タイル定量分析条件の検討 』

○枝 彩花、松山 智昭、佐藤 紀之、藤田 哲也
((株) 日新環境調査センター)

② 『 蛍光顕微鏡法による大気アスベスト検査の自動化の試み 』

○黒田 章夫¹⁾、西村 智基¹⁾、石田 丈典¹⁾、加賀 健一郎²⁾、木下 慶一²⁾
(¹⁾ 広島大学大学院統合生命科学研究科、²⁾ 東亜ディーケーケー (株))

③ 『 Application of NIR Handheld Analyzer as a Laboratory Tool 』

○ナス・クリシュナ
(ユーロフィン日本総研 (株))

11時00分～12時20分

【一般研究発表】 座長: 森 洋 (秋田環境測定センター(株))

④ 『 事前調査における試料採取のより安全な方法についての考察 』

○松井 円、
(日本環境分析センター (株))

⑤ 『 高圧水洗除去での飛沫養生の必要性 』

○藤林 秀樹
((株) 藤林商会)

⑥ 『 超高層ビル解体工事における石綿管理の取組み

その1 除去搬出作業の管理と合理化 』

○河野 雄一郎¹⁾、青山 浩之²⁾、小笠原 位²⁾
(¹⁾ 鹿島建設 (株)、²⁾ 環境リサーチ (株))

⑦ 『 超高層ビル解体工事における石綿管理の取組み その2 漏洩監視のDX化 』

○青山 浩之²⁾、小笠原 位²⁾、河野 雄一郎¹⁾、
(²⁾ 環境リサーチ (株)、¹⁾ 鹿島建設 (株))

12 時 20 分 ～ 13 時 20 分 昼食休憩

13 時 20 分 ～ 16 時 30 分

【 シンポジウム 2 】

『 呼吸用保護具のフィットテスト実践 (仮題) 』

司会：今川委員 (中央労働災害防止協会)

【 基調講演 1 】

『 マスクフィットテストの一般論の概要説明 (仮題) 』

(株) 重松製作所 営業本部 マーケティング部 企画部長 渡邊 雅之

【 マスクフィットテスト実践 】

*お持ちいただいたマスクにて、実際にマスクフィットテストを行います。

総括・質疑 (ディスカッション)

16 時 30 分 閉会の挨拶 (一社) 日本繊維状物質研究協会 副理事長 富田 雅行